

高齢者世帯個別訪問による交通安全啓発

補助事業 和歌山県交通安全母の会連絡協議会

実施目的

従来型の各種交通安全啓発活動（交通安全教室等）に参加しない高齢者を対象に、世帯訪問活動を通じた交通安全指導・啓発を行うことにより、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。

実施場所 県内

対象者 高齢者

開始年度 平成23年

予算 600 千円 （一部）

実施内容

（内容）

各地区の交通安全母の会会員が高齢者世帯を訪問し、地域の交通事情や被訪問者の実態に即した交通安全指導、交通安全に関する啓発活動（パンフレット及び反射材、啓発物品を利用した個別訪問）を実施する。

（方法）

実施地区の実情に応じて、高齢者団体や自治会、社会福祉協議会等の協力を得て訪問世帯を選定する。

訪問にあたり、事前の訪問告知に努め、訪問員2人以上を一組として高齢者世帯を訪問して実施する。

URL

飲酒運転根絶

直轄事業

実施目的

飲酒運転の根絶を計画的かつ総合的に推進するため、平成31年4月に「和歌山県飲酒運転の根絶に関する条例」を制定し、県、県民及び事業者の責務と取組を明確にした上、県民一体となった飲酒運転根絶に向けた取組を展開していく。

実施場所

県内

対象者

県民一般

開始年度

令和元年

予算

60 千円

実施内容

(内容)

条例の周知広報

再犯者に対する受診命令の交付

(方法)

- ・チラシの作成、配布
- ・テレビ、ラジオ等のメディアを活用した広報
- ・SNS（インスタ、X等）を活用した広報
- ・交通安全講座や各種イベント等での周知

URL

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/inshu/d00157304.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ヘルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全推進

サイン＋サンクス運動（信号機のない横断歩道での交通事故防止運動）

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

当県の信号機のない横断歩道における一時停止率は41.5%（令和7年度調査）で、全国ワースト7位となっているため、本運動をきっかけに横断歩行者保護の意識を向上させ、横断歩行者事故を抑止することを目的とする。

実施場所

県内

対象者

県民一般

開始年度

令和4年

予算

3095 千円（一部）

実施内容

（内容）

横断歩道を渡る時に歩行者が手を上げる（サイン）などして、運転者へ横断する意思を明確に伝えることに加え、停止してくれた運転者に対し「ありがとう」（サンクス）の気持ちを会釈などで伝えることで、運転者に横断歩行者保護の意識を向上させ、横断歩行者事故を抑止する。

（方法）

- ・チラシやポスター、啓発物品の作成、配布
- ・県内の小学校を順次推進校として指定
- ・SNS（インスタ、X等）を活用した広報
- ・交通安全講座や各種イベント等での周知

URL

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/d00210751.html>

自転車安全利用促進事業

直轄事業

実施目的

自転車のヘルメット着用が努力義務化されたこと及び、16歳以上の自転車運転者の交通違反に対する反則通告制度導入に伴い、すべての自転車利用者の着用率向上を図る。

また、全国的に自転車事故により高額な損害賠償を命じられる事例を受け、平成31年4月に制定した「和歌山県自転車の安全利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の安全利用の促進と万が一の事故に備えた自転車保険の加入を促進する。

実施場所

県内

対象者

県民一般

開始年度

令和元年

予算

3095 千円（一部）

実施内容

（内容）

- ・ヘルメット着用を含む自転車の安全利用に関する広報啓発
- ・自転車保険に関する広報啓発及び加入状況調査
- ・学生に対する交通安全講話

（方法）

- ・チラシやポスター、啓発物品の作成、配布
- ・テレビ、ラジオ等のメディアを活用した広報
- ・SNS（インスタ、X等）を活用した広報
- ・街頭や参加イベントにおける保険加入調査
- ・高校生によるヘルメット着用動画コンテストの開催

URL

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/d00212760.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

春の全国交通安全運動街頭啓発出発式

補助事業 交通事故をなくする県民運動推進協議会

実施目的

広く県民に春の全国交通安全運動のスタートを広報し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止を目指す。

実施場所 県内

対象者 県民一般

開始年度

予算 786 千円 (一部)

実施内容

(内容)

地元ラジオ局と連携した特別番組の放送や、県内各所で行われる啓発活動の状況をラジオで実況放送しながら県民に広く交通安全を啓発する。

(方法)

和歌山放送が起用した5組のタレントを県内5ヵ所に配置し、各所を回り講演や啓発する状況を地元ラジオ局が生放送することにより、春の全国交通安全運動を県民に広報する。

啓発活動は、県及び県警察、市町村、交通事故をなくする県民運動推進協議会、交通安全ボランティア等が協力して実施する。

URL

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/kotsuanzen/index1.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

県内小学校新一年生に対する交通安全教材の配布

直轄事業

実施目的

新たに通学を始める新一年生に対して、交通安全教育教材を配布し交通安全教育を推進する。

実施場所 県内

対象者 小学校新一年生（※1）

開始年度 平成13年

予算 2295 千円 （一部）

実施内容

（内容）

小学生に対する分かり易い交通安全教材の配布

（方法）

市町村教育委員会を通じ、小学校新一年生に対し、交通安全教育教材を配布することにより、交通安全に興味を持たせるとともに、教職員に対しては児童に対する交通安全教育の必要性を再認識させる。

（※1）特別支援学校を含む。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

和歌山交通公園での交通安全教育

委託事業（一財）和歌山県交通安全協会

実施目的

交通公園の施設を利用し、園児・児童に対する交通安全教室を行い、交通ルールの習得による交通事故防止を目指す。

実施場所 和歌山交通公園

対象者 園児・児童

開始年度 昭和50年

予算 15084 千円

実施内容

（内容）

園児・児童に対する交通安全教室

（方法）

幼稚園や保育園、小学校からの依頼を受け、園児・児童に講習やビデオにより交通安全教育を行うとともに、公園内の道路（コース）を使用して自転車の乗り方や歩行訓練を行う。

URL

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/kouen/koutsuukouen.html>